

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理  
送信日時: 2015年1月17日土曜日 23:42  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年1月17日発行

////////////////////////////////////  
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年1月17日発行 /  
/ 中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】  
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】  
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 第132回研究会のご案内【New】
- 【3】 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回のご案内【再送】
- 【4】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第11回／杉本漢三【New】

---

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第132回研究会 2015/01/25(日) 13:00～ 名城大学 名駅サテライト
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 2015/02/22(日) 13:00～ トヨタ産業技術記念館
- 第133回研究会 2015/03/22(日) 13:00～ 大同大学 本館14階 交流室
- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/24(日) 13:00～ 開催予定

会場は名古屋都市センターを除き予定です。名城大学名駅サテライトにお願いする予定ですが、大同大学や豊田くらし発見館などに変更する場合があります。

---

【2】 第132回研究会のご案内【New】

中部産遺研第132回研究会を下記の通り開催しますのでお知らせいたします。

日時：2015年1月25日 午後1時～5時

会場：名城大学 名駅サテライト

<http://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/msat.html>

名古屋市中村区名駅3-26-8 KDX名古屋駅前ビル13階

名古屋駅前油にモール地下街4番出口出てすぐ、KDX名古屋駅前ビル13階

主な内容

新年のご挨拶 永田会長

## 新会員紹介

### 1. 研究報告、調査報告

[132-11-01] 研究ノート「真空管の技術がトランジスタに移転」 渡辺治男

[132-11-02] 「ドイツ・マグデブルクの技術博物館Technikmuseum Magdeburgを訪ねて」 石田正治

[132-11-03] 「名古屋の航空史の落ち穂拾い」 伊東重光

[132-11-04] 「3Dレーザースキャナー利用による建造物の測定と応用・・・砂防堰堤の調査測定報告」  
馬場慎一

参加申し込みは必要ありませんので、皆様、お気軽にご参加下さい。

---

### 【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回のご案内【再送】

---

リーフレットが完成しました。

[http://csih.sakura.ne.jp/nitigi/nitigi\\_tirashi33%202014.12.3.pdf](http://csih.sakura.ne.jp/nitigi/nitigi_tirashi33%202014.12.3.pdf)

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回を下記の通り開催致しますのでご案内致します。

テーマ 「博物館における動態保存のあり方」

趣旨 博物館では機械など本来は動くものであれば動態保存することが望ましい。  
博物館展示の使命の一つは見学者にいかに理解しやすい展示方法をとるかであろう。  
動態展示はその点では格段に情報量が多く、また動かすことで関心も呼ぶことになろう。  
しかし文化財保護の立場からは動かすことは消耗にあたりとされ、また動態整備への負担や課題も多い。  
実際に動態保存・展示している博物館での事例や行政の立場など、さまざまな角度から議論を深めたい。

主催 中部産業遺産研究会

共催 トヨタ産業技術記念館

日時 2015（平成27）年2月22日（日）午後1時～午後4時45分

会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

参加費 中部産業遺産研究会会員 500円（講演報告資料集の代金を含む）

一般 1,000円（講演報告資料集の代金を含む）

○懇親会費 5,000円

参加にはお申し込みが必要です。詳細は次のアドレスをクリックして開いて下さい。

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

参加申し込みフォームはこちら。

<http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

技術士資格などをお持ちの方でCPD参加票の発行を必要とされる方は、参加申し込みフォームから発行のお申し込みが可能です。

（公益社団法人日本技術士会中本部に後援の依頼をお願いしております。）

---

### 【4】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第11回／杉本漢三【New】

---

アインシュタインの方程式 ー究極の法則ー

数学、物理、化学の公式は、数字とアルファベットを組み合わせられて表されているが、その中でも美しいものが「アインシュタインの方程式」といわれている。古典的なニュートンの方式と違って、宇宙の空間や時間は、柔らかく伸び縮みするといったアインシュタイン(1879～1955)の理論に基づいた方程式である。すなわち、柔らかい空間や時間は、物質が沢山あると大きく撓むということであり、その方程式の左辺は「空間の曲がり方」を表し、右辺は「物質・エネルギーの量」を

表している。この方程式は、宇宙が生まれてから現在の姿になるまでを記述したものであって、物理学者は様々な条件の下でこの方程式を解いているのである。

$$G_{\mu\nu} + \Lambda g_{\mu\nu} = \frac{8\pi G}{c^4} T_{\mu\nu}$$